

Environmental Data Auto Monitoring System

e-Dam EBH2-DFF

●操作マニュアル●

Emborick co.,ltd.

目次

1. 主な仕様

1-1. EBH2-DFFの特徴.....	3
1-2. 主な仕様.....	4

2. 各部の名称と機能

2-1. EBH2-DFF正面 外観正面/外観底面.....	5
2-2. EBH2-DFF正面 内側収納機材.....	6
2-2. EBH2-DFF正面 操作パネル.....	7
2-3. EBH2-DFF下面 コネクタパネル.....	8
2-4. EBH2-DFF正面 LCD上でのデータ表示.....	9
2-5. 計測前の準備.....	
2-5-1. 粉塵計(LD-5).....	10
2-5-2. BG(バックグラウンド)値の計測.....	11
2-5-3. 感度の調整(スパンチェック).....	12
2-5-4. 計測の前準備.....	13

3. データ記録

3-1. データ記録の仕様.....	14
3-2. データ記録の開始.....	15
3-3. データ記録の停止.....	15

4. 計測設定

4-1. 警報の出力の設定変更.....	16
4-1-1. 警報出力の種類を変更する.....	16
4-1-2. 警報出力するしきい値などを変更する.....	17
4-1-3. 粉塵計のK値(質量濃度変換係数)を設定する.....	18
4-1-4. 粉塵計の計測時間を設定する.....	19
4-1-5. 平均風速のサンプリング時間を設定する.....	20
4-2. タイマー機能を使う.....	21
4-2-1. 警報タイマー機能を使う.....	22
4-2-2. データログタイマー機能を使う.....	23
4-2-3. 表示器タイマー機能を使う.....	24

5. 本体設定

5-1. 日時・操作音設定.....	25
5-1-1. 日付設定.....	26
5-1-2. 時刻設定.....	26
5-1-3. 操作音設定.....	27
5-2. 本体ネットワーク設定.....	28
5-2-1. 自己IP設定.....	28
5-2-2. サブネットマスク設定.....	29
5-2-3. ゲートウェイ設定.....	29
5-3. 接続先設定.....	30
5-3-1. 接続先設定.....	30
5-3-2. TCPポート確認.....	30
5-4. 外部表示設定.....	31

目次

6. エラーメッセージ.....	32
7. 付録	
7-1. アプリケーション.....	34
7-1-1. 日報アプリケーション e-DamWin.....	34

1. 主な仕様

1-1. EBH2-DFFの特徴

■ 1台で粉塵・風向・風速データを取得、粉塵のみの測定もOK！

粉塵値と風向・風速のデータを合わせて取得できます。取得したデータは専用ソフトを使用すれば、リアルタイムでの計測値の表示も可能になります。また、風向・風速の測定が不要であれば、粉塵値のみの測定も可能です。

■ 明るさセンサーを搭載し、「省エネ」を実現！

EBH2本体に明るさセンサーを内蔵し、周囲の明るさによって表示灯の明るさが変化する「自動調光システム」を搭載しました。日中の計測時間帯では表示灯が見やすくなるように明るくなり、計測を行っていない夜間では表示灯の明るさを下げ、無駄な電力の仕様を抑えるエコ仕様となっています。



■ 計測器ボックスとコントロールボックスのセパレートタイプ

粉塵計測器は定期的に校正に出すことが必要なため、計測器ボックスとコントロールボックスを分離し、メンテナンス性を考慮しています。

■ データ記録機能を強化

SDカードへの記録中に電源供給が停止された場合、内蔵バッテリーが働きこれまで記録していたファイルを安全に保存します。

また、データ記録にもタイマー機能をもうけており必要な時間帯のみの記録を行うことが可能です。

■ 警報値を数段階に設定可能

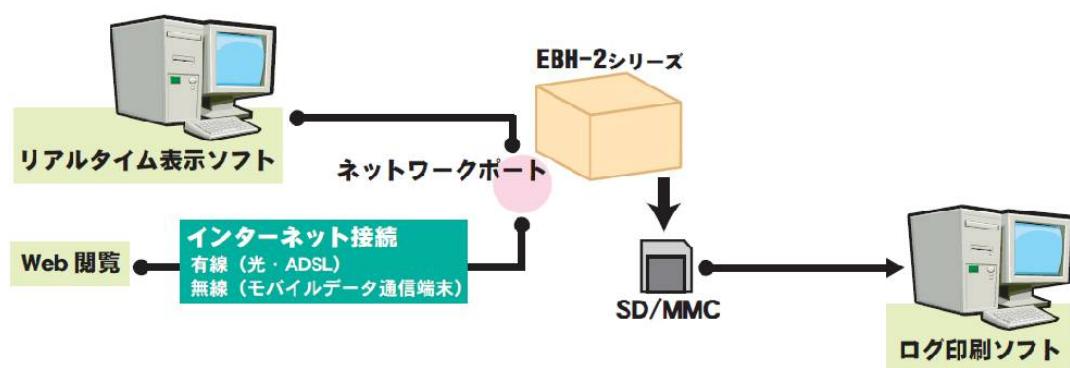
警報値を数段階に設定可能で、粉塵・風向・風速の状況がわかりやすくなります。

また、警報機能においてもタイマー機能があり、夜間など必要時間帯の動作を停止することができます。

■ オプションで広がる活用法

SDカードへのデータ記録だけでなく、インターネット回線（モバイルもOK！）を利用して、専用Webサーバへデータ送信が可能！

管理者が遠隔で計測値を閲覧できることが可能です。



1-2. 主な仕様

■ EBH2-DFFの動作概要

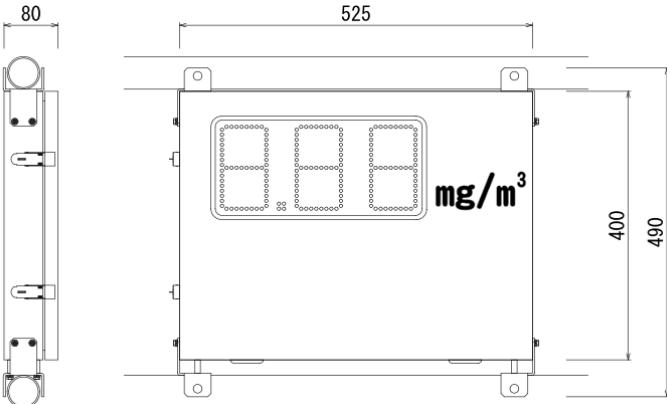
EBH2-DFFはEBH2と表示器が一体のタイプで、粉塵計の電源が入っていれば自動的に各計測と通信を行い、計測値を表示するとともにSD/MMCカードへログを残すことが可能です。

また、規制値を判断し警報出力を行います。

風向風速計（ヴァイサラWMT52）の電源については、EBH2-DFFから通信ケーブル経由で電源供給するため1本の通信ケーブルで済みます。※1

※1：寒冷地のご利用で通信ケーブルが60mを超える場合は、ヴァイサラ製WMT52のヒーター能力を十分に引きだせなくなるため、「ヒーター用電源ユニット（別売）」をご用意いただく必要があります。

■ EBH2-DFFの概寸図と仕様

概寸図	外寸法： W525mm×D 80mm×H 400mm (突起部除く)	本体重量： 11.5kg	電源入力： AC100V 1.6A 50/60Hz
			

主な仕様

外寸法	W525mm×D 80mm×H 490mm (取付け板含む)
計測値表示	W308mm×H142mm 内に表示 3ヶタ+小数点
本体重量	11.5 kg
メイン電源部	入力 AC100V 1.6A 50/60Hz
消費電流	100V 1.4A
電源ヒューズ (EDAM部)	250V 5.0A ミゼットヒューズ(φ5.2×20mm)
SD/MMCカードスロット	2GB以下のSDカード ※推奨品をご利用ください。 フォーマット形式=FAT16
LANポート	Ethernet 10Mbps × 1ポート
警報出力	無電圧接点出力 × 4ポート 24V出力 250mA以下 × 4ポート
電源ケーブル	3芯1.25q × 5m
計測器用通信ケーブル	粉塵計 (RS-232Cケーブル) 5 m 風向風速計 (RS-485ケーブル) 5 m
対応計測器	粉塵計（柴田科学製 LD-5） ※別売り 風向風速計（ヴァイサラ製 WMT52） ※別売り
日時 保持期間	供給電源なし 約30日間

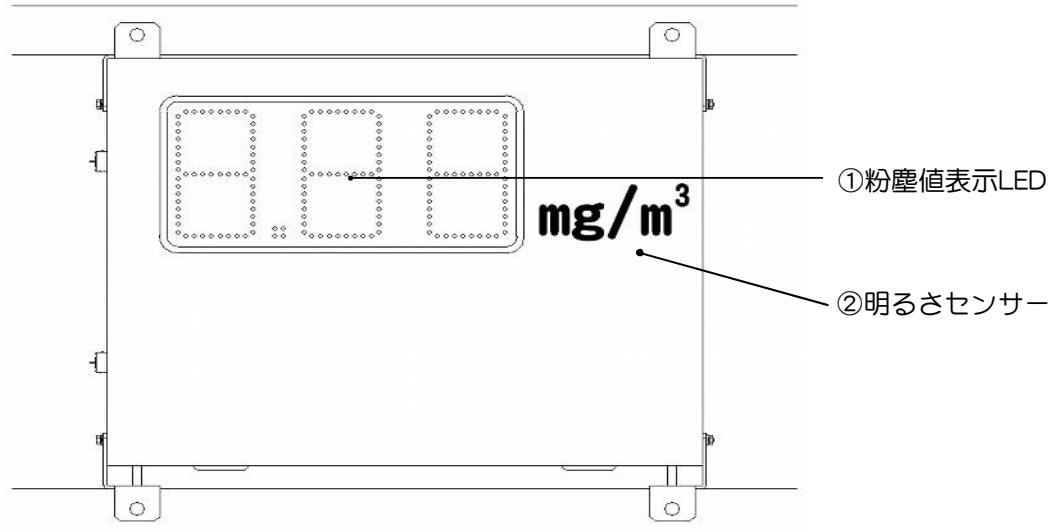
推奨品

SDカード	SUNDISK社製 SDSDB-2048-J95 (2GB)
-------	--------------------------------

2. 各部の名称と機能

2-1. EBH2-DFF正面 表示器一体型筐体

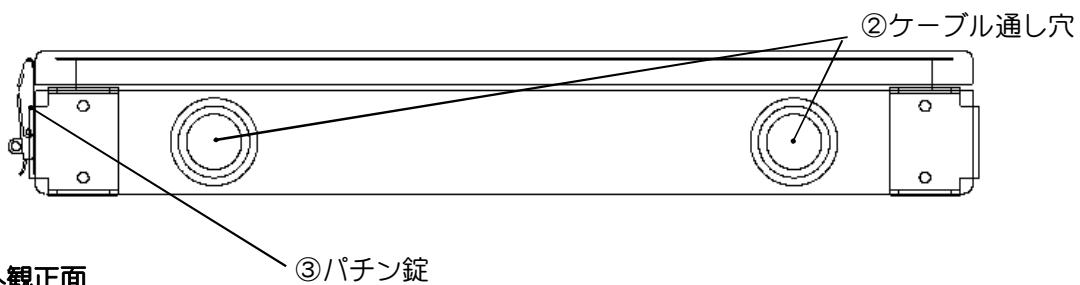
□ 外観正面図



外観正面

名称	説明
①粉塵値表示LED	表示値は0.00~9.99までになります。
②明るさセンサー	周囲の明るさを探知するためのセンサーです。

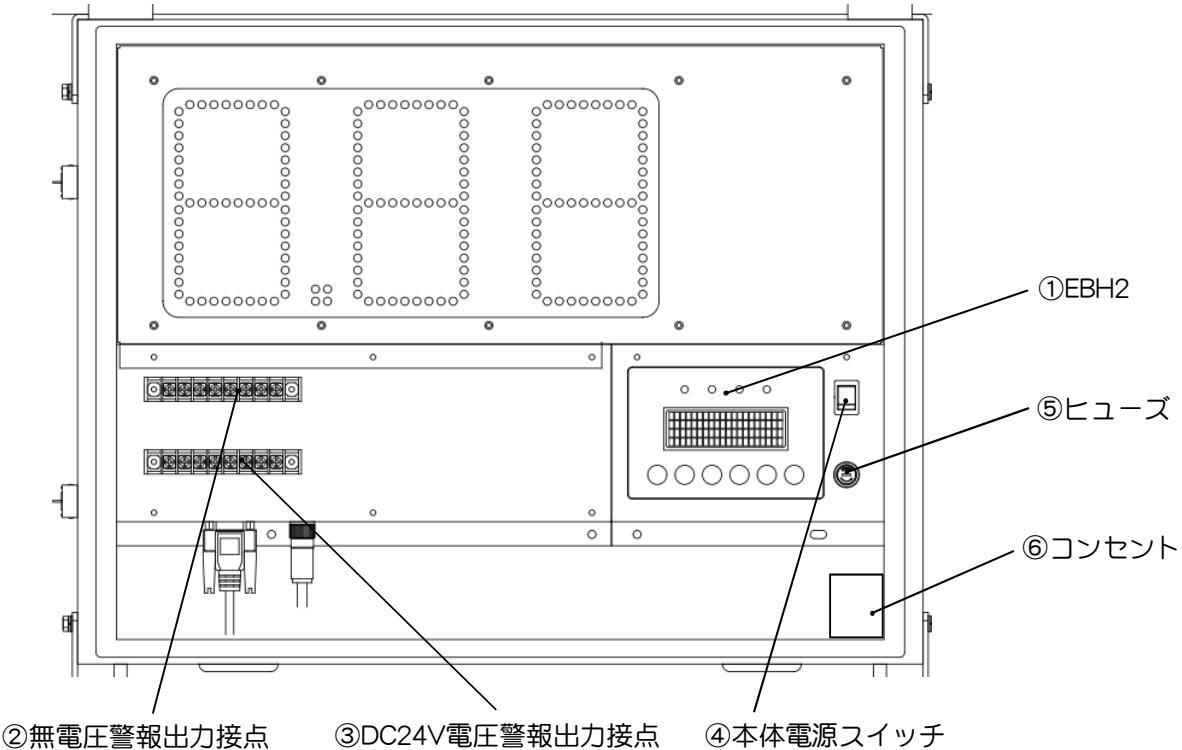
□ 外観底面図



外観正面

名称	説明
②ケーブル通し穴	電源・LANケーブル等を通します。ゴムブッシュを使用し、防水性を高めています。
③パチン錠	本体と裏蓋を締め込みます。本体側にゴムパッキンを使用し、防水性を高めています。

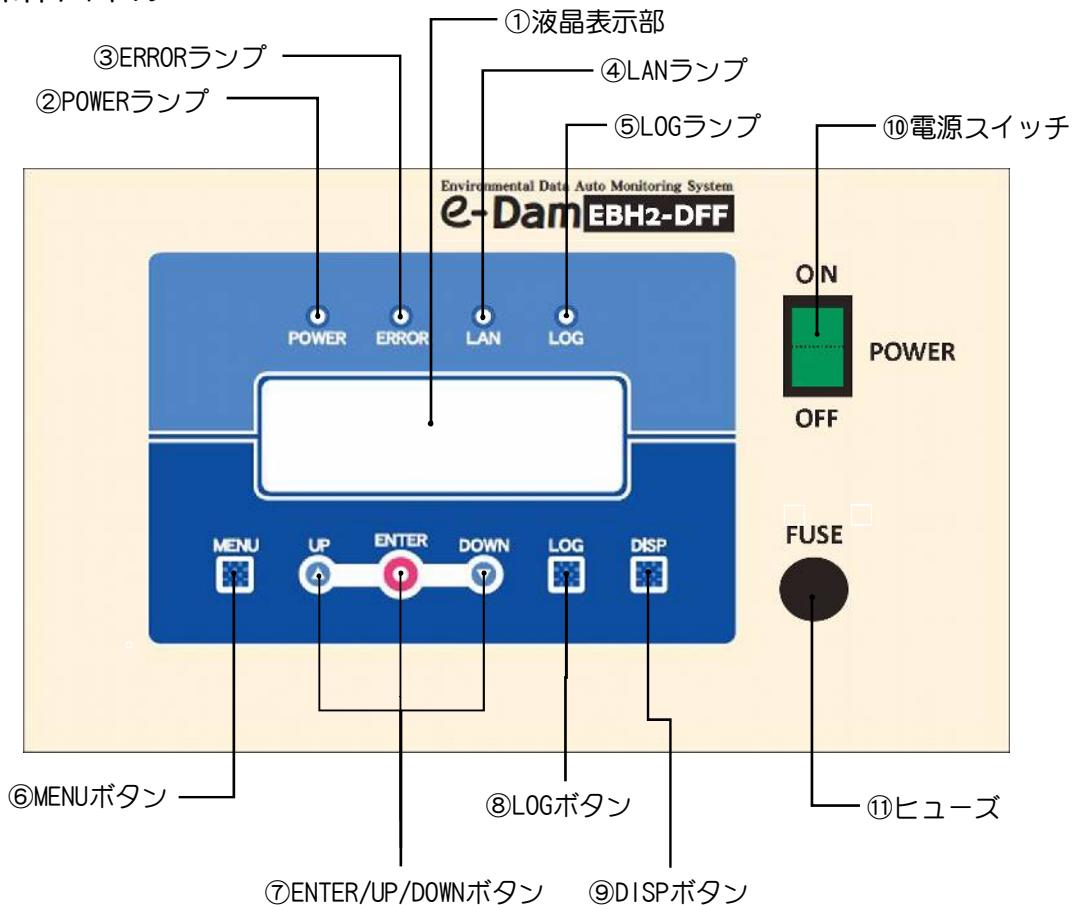
□ 内側収納機材



名称	説明
①EBH2	EBH2-DFFのコントロールボックスです。
②無電圧警報出力接点	警報設定値を超えると、警報器（無電圧）へ出力します。
③DC24V電圧警報出力接点	警報設定値を超えると、警報器（DC24V 250mA）へ出力します。
④本体電源スイッチ	表示器一体型本体の電源スイッチです。
⑤ヒューズ	eDamBox のヒューズです。
⑥コンセント	AC100V用コンセントです。

2-2. EBH2-DFF正面 操作パネル

■操作パネル

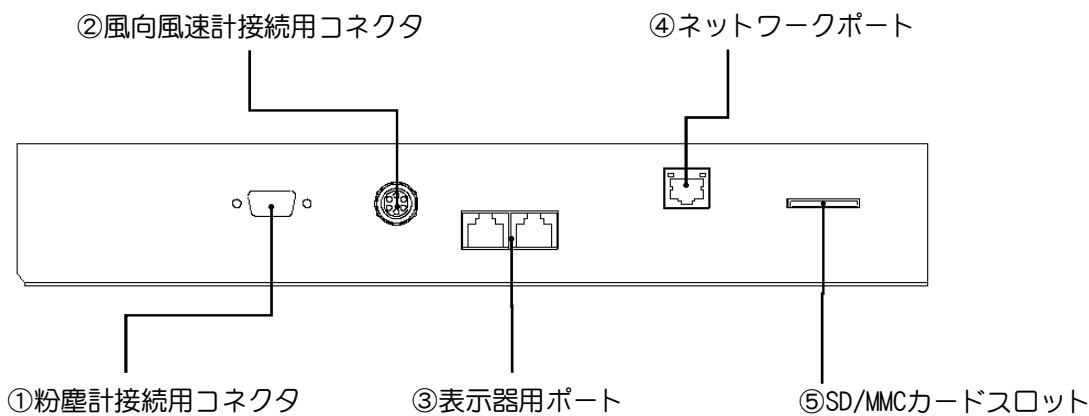


操作パネル

名称	説明
①液晶表示部	計測状態や設定メニューなどを表示する画面です。
②POWERランプ	eDamBox に電源投入されると点灯します。
③ERRORランプ	エラーが発生した場合点滅します。
④LANランプ	ネットワーク通信中に点灯します。
⑤LOGランプ	SDカードへデータ記録中に点灯します。
⑥MENUボタン	設定などを行うときに、メニュー (LCD画面表示) を切り替えるボタンです。
⑦UP/ENTER/DOWNボタン	設定変更を行うときの操作ボタンです。
⑧LOGボタン	SDカードへのデータ記録を開始するときや、停止するときの操作ボタンです。
⑨DISPボタン	計測値の表示を点灯、消灯する操作ボタンです。
⑩電源スイッチ	表示器一体型本体の電源スイッチです。
⑪ヒューズ	eDamBoxのヒューズです。

2-3. EBH2-DFF下面 コネクタパネル

■ コネクタパネル



コネクタパネル

名称	説明
①粉塵計接続用コネクタ	粉塵計を接続します。
②風向風速計接続用コネクタ	風向風速計を接続します。
③表示器用ポート	増設外部表示器 出力×2ポート ※総延長距離500mまで（ストレートLANケーブルを使用してください）
④ネットワークポート	パソコンやHUBなどと接続します。
⑤SD/MMCカードスロット	SDカードの挿入口です。

重要!!

※SD/MMCカードスロットに濡れたり、汚れているカードを
挿入し
ないでください。

2-4. EBH2-DFF正面 LCD上でのデータ表示

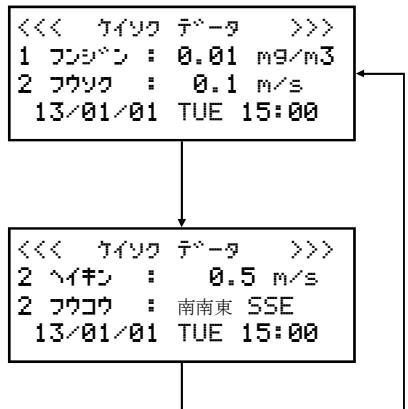
◆LCD上に表示されるデータ

EBH2-DFF は 粉塵値、平均風速、瞬間風速、風向のデータを計測しています。

内臓のLCD画面では全てのデータを一度に表示することが出来ない為、

2画面をローテーションしながら計測データを表示させています。

2画面を秒ごとに切り替えて表示しています。



1. 粉塵・風速の表示

上段に粉塵値 ($0.00 \sim 9.99 \text{ mg/m}^3$)

下段に瞬間風速 (0 ~ 60 m/s)
を表示します。

2. 平均風速の表示

上段に平均風速 (0 ~ 60 m/s)

下段に風向
を表示します。

風向は方位を 16 分割した内容を 漢字 及び
アルファベットにて表示します。

2-5. 計測前の準備

2-5-1. 粉塵計(LD-5)



2-5-2. BG（バックグラウンド）値の計測

■ BG（バックグラウンド）値の測定

採気口を塞ぎ、クリーンエアで検出器を満たした状態で計測をおこない、バックグラウンド値を計測します。記録されたバックグラウンド値は、粉塵濃度計測値から自動的に差し引かれます。

■ BG値の計測手順について

※粉塵計の設定はEBH2本体の電源を入れる前に行ってください。

1. 「散乱板ノブ」がMEASURE（メジャー）の位置にあることを確認します。

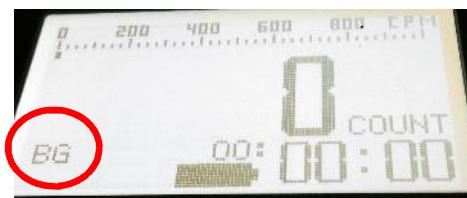
※ SENSI ADJになっている場合、ノブを引出し、左に回して
MEASUREの位置にします。

2. 「採気口」が閉じられていることを
確認します。開いている場合は「コックを
手前側」へ倒し、採気口を閉じます。
(右図参照)



3. 【粉塵計】の「電源スイッチ」を入れて1分以上放置します。
(中の空気を循環させて、無粉塵状態にする)

4. 「時間設定スイッチ」を押し、「液晶ディスプレイ」に
【BG】を表示させます。



5. 「開始／停止スイッチ」を押します。
10秒程度の待機時間の後、6秒間測定が行われます。

6. 次回の濃度測定時より、このBG測定値がキャンセルされます。

2-5-3. 感度の調整（スパンチェック）

■ 感度の調整（スパンチェック）について

採気口を閉じ計測を繰り返すことによって内部を真空状態にし、粉塵計内部に挿入されている「標準散乱板」の値に近づけることを感度の調整（スパンチェック）といいます。ここでは感度の調整手順について説明します。

■ 感度の調整（スパンチェック）手順について

1. 「採気口」が閉じられていることを確認します。開いている場合は「コックを手前側」へ倒し、採気口を閉じます。
(右図参照)



2. 「散乱板ノブ」を時計方向に回し、SENSI ADJ (センシアジャスト) の位置で押し込みます。

3. 「液晶ディスプレイ」にSPAN○○○○ CPMと表示されていることを確認します。

※SPANの下に表示される数値が校正時の標準散乱板値です。



4. この状態で1分以上放置します。

5. 「開始/停止スイッチ」を押し1分待ちます。
(計測中は表示の数値が増えていきます)

6. 1分後、数値が粉塵計固有のS値（標準散乱板値）またはその近辺の値で止まり、計測が終わります。

7. 数値がS値と大きく異なって表示されていた場合は、再度、「開始／停止スイッチ」を押し再計測を行い、これを繰り返します。
(計測値から±10は許容範囲内)

※ 感度合わせとは、この計測値をS値に合わせることを意味しますが、ズレの補正是計測器自身が行いますので、計測後に手動で値を合わせ込む必要はありません。

■ 感度の再調整について

BG値などの補正情報は電源が切れても保持してありますが、定期的に、可能であれば計測前に感度の再調整が必要となります。再調整を行う場合は、「2-5-2. BG(バックグラウンド) 値の計測」へ戻っていただき、BG値の計測→感度の再調整を、再度行ってください。

2-5-4. 計測の前準備

■ 計測時の前準備について

計測を行う際は、粉塵計の以下の点をご確認してください。

1. 「散乱板ノブ」がMEASURE（メジャー）の位置にあるかを確認します。
SENSI ADJ（センシアジャスト）の位置だった場合は、「散乱板ノブ」を引き出し、左（反時計）方向に回して、MEASURE（メジャー）の位置にします。
2. 「採気口」が開いていることを確認します。閉じている場合は「**コックを上側**」へ持ち上げ、採気口を開きます。
3. 「時間設定スイッチ」を押して計測時間の設定を「MANUAL」に設定します。
設定後に、「開始/停止スイッチ」を押す必要はありません。



※ 後述の「4-1-4. 粉塵計の計測時間を設定する」の項目にて設定した時間帯にて、自動的に計測を開始します。

■ 計測時の注意点

EBH2本体の電源がONになると、自動的に粉塵計の時間設定が「MANUAL」に設定されます。その後「MANUAL」以外の設定に手動で変更した場合、EBH2本体がデータを受信できず、ケイソクキエラーが表示されます。

*** ケイソクキ エラー ***
データシユウシン テキマセン！
リクティキ ノ テンケン オヨヒ
セツリバク ヲ カクニンシテクタサイ

3. データ記録

3-1. データ記録の仕様

■ SDカードについて

EBH2-DFFのデータ記録はSDカードで行います。

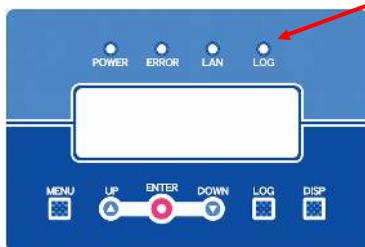
SDカードは 容量2GB以下のFAT16フォーマットされたものを使用してください。

SDカードの取り出す際は**LOGランプが消灯していることを確認**してからSDカードを押し
「カチッ」と音が鳴りSDカードが少し出ましたら抜いてください。

重要!!

■ データ記録中のSDカード取り出しに注意

データ記録中にSDカードを取り出した場合、記録した**データファイルが破損する恐れ**があります。必ずデータ記録の停止作業を行い、**LOGランプが消灯していることを確認**してからSDカードを取り出してください。



■ データ記録中における電源切断時の対応

データ記録中になんらかの原因で電源が切断された場合、内蔵バッテリーが作動して記録したデータファイルを安全に保存いたします。電源が復旧した場合、電源切断直前の状態を保持しているため、**データ記録は新しいファイルへ自動に再開**されます。

■ データファイルについて

データファイルはSDカード内の「EDAMDATA」というフォルダの中に作成されます。データファイル名は「YYMMDD00.ELD」の日付とログ開始回数で構成されており、1日最高100ファイルまで作成できます。ファイル名は自動に付けられるため設定する必要はありません。

記録されたデータファイルは弊社アプリケーション「日報アプリケーション e-DamWin」を使用することで日報印刷や1秒瞬時値の表示などが行えます。

※ SDカードは破損することがあります。ログは溜め過ぎず1週間程度でパソコンに取り込むことをお勧めします。

■ データログタイマー機能

データ記録にもタイマー機能をもうけてあり必要な時間帯のみの記録を行うことが可能です。 ※参照「4章 4-2-1.データログタイマー機能を使う」

3-2. データ記録の開始

1. コネクタパネル部の「SD/MMC」にSDカードを「カチッ」と音が鳴るまで挿入します。

図3-2-1. SD/MMC



2. LOGランプが点滅し、消灯したらSDカードの認識がされます。

※SDカードが書き込みできない場合はエラーが発生しますので、メッセージに従い対応してください。

3. LOGボタンを1秒間長押しします。「ピッ！ ピッ！」と鳴り、LOGランプが点灯すればデータ記録が開始されます。

※操作音の設定が「OFF」の場合、音は鳴りません。

※1 「ピッ！」とエラー音が鳴りエラーランプが点滅しましたら、SDカードのエラーが発生しておりますので、表示されたメッセージに従い、SDカードの交換またはフォーマットを行ってください。

図3-2-2. 操作パネル

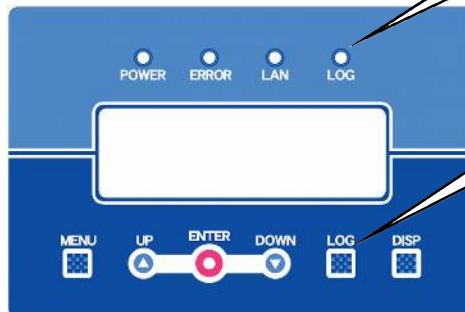


図3-2-3. LOGランプ



図3-2-4. LOGボタン



3-3. データ記録の停止

※SDカードを抜くとき必ず行ってください

1. LOGボタンを1秒間長押しします。「ピッ！ ピッ！」と鳴り、LOGランプが消灯すればデータ記録が停止されます。

※操作音の設定が「OFF」の場合、音は鳴りません。

2. LOGランプが消灯後、SDカードを安全に抜くことができます。SDカードを抜くときは、SDカードを押し「カチッ」と音が鳴り、少し出ましたら抜いてください。

危険!

データ記録中のままSDカードを抜きますとファイルが壊れことがあります。必ずデータ記録の停止作業を行ってからSDカードを抜いてください。

重要!!

※SDカードは推奨品をご利用ください。
それ以外の物についてはサポートの対象外になります。

推奨品

SDカード

SUNDISK社製 SDSDB-2048-J95 (2GB)

4. 計測設定

4-1. 警報の出力の設定変更

◆警報出力は有効にするか無効にするかを選択出来ます。

ナシ：警報出力しません。
カスタム：警報出力します。

◆出荷時状態では カスタム となっています。 変更する場合には以下の操作を行います。

4-1-1. 警報出力の種類を変更する



1. 警報出力の種類を変更する場合には、[計測データ表示]画面から操作パネルのMENUボタンを4回押し[メニュー センタク]画面を表示します。
2. [メニュー センタク]画面が表示されたらDOWNボタンを押して[ケイソク セッティ]を選択し、ENTERボタンを押して選択確定します。
3. [ケイソク セッティ]画面が表示されたらDOWNボタンを押して[ケイホウ シュツリョク シュルイ]を選択し、ENTERボタンを押して選択確定します。
4. [ケイホウ -> シュツリョク シュルイ]画面が表示されますのでUPまたはDOWNボタンを押して設定したい警報種類を表示させます。以下の順で表示が変わります。
[カスタム]—>[ナシ]

5. 希望の出力種類が表示されたら、ENTERボタンを押して確定します。
6. 警報出力種類を変更した場合には、次項の警報出力内容の設定を確認、場合により変更して下さい。
7. [ケイソク セッティ]以降の画面では、MENUボタンを押すと1つ前のメニュー画面に戻ります。

この時、ENTERボタンで確定していない項目は変更されません。

4-1-2. 警報出力するしきい値などを変更する

◆指定した計測データが規制値を超えた場合や計測データの風向が指定範囲に入った場合に警報出力を出します。その時のしきい値等を設定します。

しきい値：警報を出力させる値

設定範囲：粉塵 0.00 ~ 9.99 (mg/m³) 設定範囲：平均風速 0 ~ 255 (m/s)

設定範囲：風速 0 ~ 255 (m/s)

設定範囲：風向 16方位

0 ~ 8(Step)

警報時間：警報を出力している秒数

設定範囲：0 ~ 9 (秒)

0 の場合 警報出力されません。

サブ リング 時間：警報を出力させるまでのしきい値を超えている秒数

設定範囲：0 ~ 9 (秒)

0 の場合 しきい値になると直ぐに警報を出力します。

```
<<< ケイソク テーダ >>>
1 フンシン : 0.08 mg/m3
2 フウソク : 0.7 m/s
13/01/18 FRI 09:00
```

- 前項の出力種類設定と同様、[計測データ表示]画面から操作パネルのMENUボタンを4回押し[メニュー センタク]画面を表示させます。
- DOWNボタンを押して[ケイソク セッティ]を選択しENTERボタンを押して選択確定します。

```
<< システム バージョン 1 >>
MAIN Ver. 1.00/DF
LOG Ver. 1.03
NET Ver. 1.03
```

- [ケイソク セッティ]画面が表示されたら、DOWNボタンを押して[ケイホウ シュツリヨク ナイヨウ]を選択しENTERボタンを押して選択確定します。

```
<< システム バージョン 2 >>
シリアル No. 09001
```

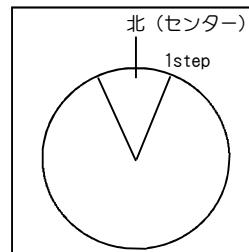
- [カスタム ケイホウ ナイヨウ]画面でENTERボタンを押します。
- [カスタム ケイホウ ナイヨウ]以降の画面では、MENUボタンを押すと1つ前のメニュー画面に戻ります。この場合、確定していない部分の変更は反映されません。変更する項目は、必ずENTERボタンを押して確定してください。

```
<<< システム ステータス >>>
ケイホウ ON
データ ログ ON
ヒュウシキ ON
```

- 各項目を変更しながらENTERボタンを押して確定・次項目へ進みます。

```
+++ メニュー センタク ===
ケイソク テーダ ヒュウシキ
[ ケイソク セッティ ]
ホンタイ セッティ
```

- 風向は方位がセンターになります。警報を出したい風向をセンターにします。1step増やすごとに左右の範囲が22.5度ずつ増え、警報が出やすくなります。



```
+++ ケイソク セッティ ===
タイマー セッティ
ケイホウ シュツリヨク シュルイ
[ ケイホウ シュツリヨク ナイヨウ ]
```

- 変更したい項目でUP又はDOWNボタンを押すことにより設定する値が変更されますので、任意の値になった時にENTERボタンを押して確定します。

確定後は、自動的に次の項目に移動します。

- 最後の警報内容を確定すると1つ前のメニュー(ケイホウ ナイヨウ画面)に戻ります。

```
== カスタム ケイホウ ナイヨウ ==
1:1 フンシン 2:2 ヘイキン
3:2 フウソク 4:2 フウコウ
ヘンコウ [ ENTER ]
```

ケイホウ2	->	[2フウソク]
シキイチ		10 m/s
ケイホウシキカン		5 ピョウ
サンフーリングシキカン		5 ピョウ

```
ケイホウ1 -> [1フンシン]
シキイチ 0.10 mg/m3
ケイホウシキカン 5 ピョウ
サンフーリングシキカン 5 ピョウ
```

ケイホウ3	->	[2ヘイキン]
シキイチ		10 m/s
ケイホウシキカン		5 ピョウ
サンフーリングシキカン		5 ピョウ

ケイホウ4	->	[2フウコウ]
フウコウ		2 step
ケイホウシキカン		5 ピョウ
サンフーリングシキカン		5 ピョウ

== カスタム ケイホウ ナイヨウ == 1:1 フンシン 2:2 フウソク 3:2 ヘイキン 4:2 フウコウ ヘンコウ [ENTER]

4-1-3. 粉塵計のK値（質量濃度変換係数）を設定する

◆粉塵計のK値を設定します。

出荷時状態では 0.0010 mg/m^3 となっております。



1. 前項のしきい値設定と同様、[計測データ表示]画面から操作パネルのMENUボタンを4回押し[メニュー センタク]画面を表示させます
 2. DOWNボタンを押して[ケイソク セッティ]を選択しENTERボタンを押して選択確定します。
 3. [ケイソク セッティ]画面が表示されたら、MENUボタンを押して[フンジン セッティ]画面を表示させます。
 4. [フンジン セッティ]画面が表示されたら、ENTERボタンを押して[フンジン セッティ -> K セッティ]画面を表示させます。
 5. [フンジン セッティ -> K セッティ]画面が表示されたら、UP又はDOWNボタンを押して希望するK値を選択し、ENTERボタンを押して確定します。
 6. K設定値を変更した場合、下図の注意画面が表示され、EBH2本体を再起動を促すメッセージが表示されます。設定した値を有効にするためにEBH2本体の再起動を行ってください。

4-1-4. 粉塵計の計測時間を設定する

◆粉塵計の計測時間を設定します。

設定範囲：0:00 ~ 23:59
出荷時状態では 8:00 ~ 17:00 となっています。

<<< ケイソク テータ >>>
1 フンジン : 0.08 mg/m³
2 フウソク : 0.7 m/s
13/01/18 FRI 09:00

1. 前項のK値設定と同様、[計測データ表示]画面から操作パネルのMENUボタンを4回押し[メニュー センタク]画面を表示させます
2. DOWNボタンを押して[ケイソク セッティ]を選択しENTERボタンを押して選択確定します。
3. [ケイソク セッティ]画面が表示されたら、MENUボタンを押して[フンジン セッティ]画面を表示させます。
4. [フンジン セッティ]画面が表示されたら、DOWNボタンを押して[フンジン セッティ -> ケイソク]を選択しENTERボタンを押して画面を表示させます。
5. [フンジン セッティ -> ケイソク]画面が表示されたら、UP又はDOWNボタンを押して希望する時刻を選択し、ENTERボタンを押して確定します。

<< システム バージョン 1 >>
MAIN Ver. 1.00/DF
LOG Ver. 1.03
NET Ver. 1.03

<< システム バージョン 2 >>
シリアル No. 09001

<<< システム ステータス >>>
ケイホウ ON
データ ログ ON
ヒュウシノキ ON

+++ メニュー センタク +++
ケイソク テータ ヒョウシノ
[ケイソク セッティ]
ホンタイ セッティ

+++ ケイソク セッティ +++
[タイマー セッティ]
ケイホウ シュツリヨク シュルイ
ケイホウ シュツリヨク ナイヨウ

+++ フンジン セッティ +++
K セッティ
[ケイソク シカカン]

フンジン セッティ -> ケイソク
カイシ シコク [8]: 00
テイシ シコク 17 : 00

開始時刻、停止時刻

24時間表記で設定します。

毎日、設定された時刻に計測開始／停止を繰り返します。

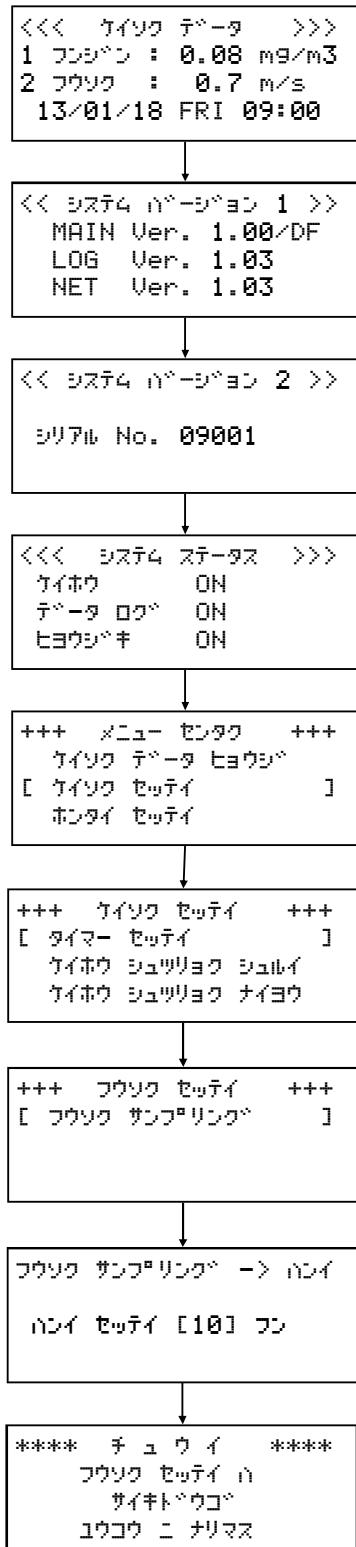
開始時刻より停止時刻の方が早い場合、日をまたいだ動作となります。

開始時刻と停止時刻が同じ場合には、常時有効となります。

4-1-5. 平均風速のサンプリング時間を設定する

◆平均風速のサンプリング時間を設定します（1～10分）。

設定範囲：1～10（分）
出荷時状態では10分となっています。



1. 前項の計測時間設定と同様、[計測データ表示]画面から操作パネルのMENUボタンを4回押し[メニュー センタク]画面を表示させます
2. DOWNボタンを押して[ケイソク セッティ]を選択しENTERボタンを押して選択確定します。
3. [ケイソク セッティ]画面が表示されたら、MENUボタンを2回押して[フウソク セッティ]画面を表示させます。
4. [フウソク セッティ]画面が表示されたら、ENTERボタンを押して[フウソク サンプリング -> ハンイ]画面を表示させます。
5. [フウソク サンプリング -> ハンイ]画面が表示されたら、UP又はDOWNボタンを押して時間（1～10分）を選択し、ENTERボタンを押して確定します。
6. 平均風速のサンプリング時間を変更した場合、下図の注意画面が表示され、EBH2本体を再起動を促すメッセージが表示されます。設定した値を有効にするためにEBH2本体の再起動を行ってください。

4-2. タイマー機能を使う

◆タイマー機能を使用すると 毎日設定された時間にデータログのオン／オフをさせることができます。

タイマーセッティ → テーダ ログ
タイマーリジョウ [ショウスル]
カイシクコク 08 : 00
テイシクコク 17 : 30

夜間に各種動作を停止させておきたい場合などに便利な機能です。
以下の設定が可能です。

警報(出力)： タイマー機能の有効／無効 及び
有効時の警報動作の開始時刻と停止時刻の設定
データログ： タイマー機能の有効／無効 及び
有効時のSDカードへ書き込みの開始時刻と停止時刻の設定
表示器： タイマー機能の有効／無効 及び
有効時の計測データ表示の開始時刻と停止時刻の設定

有効とした場合、毎日 設定された時刻に動作開始・停止を繰り返します。

出荷時状態では タイマー機能無効、開始時刻 8:00 停止時刻 17:30 となっています。

<<< ケイソク テーダ >>>
1 フンジン : 0.08 mg/m³
2 フウソク : 0.7 m/s
13/01/18 FRI 09:00

1. タイマ機能を変更する場合には計測データ表示画面から操作パネルのMENUボタンを4回押し[メニュー センタク]画面を表示します

<< システム バージョン 1 >>
MAIN Ver. 1.00/DF
LOG Ver. 1.03
NET Ver. 1.03

2. [メニュー センタク]画面が表示されたらDOWNボタンを押して [ケイソク セッティ]を選択しENTERボタンを押して確定します。

<< システム バージョン 2 >>
シリアル No. 09001

3. [ケイソク セッティ]画面で[タイマー セッティ]を選択しENTERボタンを押して確定すると[タイマー セッティ]画面が表示されます

<<< システム ステータス >>>
ケイホウ ON
データ ログ ON
ヒョウシキ ON

4. この画面では現在のタイマー機能の状態を表示しています。

使用する：タイマー機能は有効になっています。

使用しない：タイマー機能は無効になっています。

+++ メニュー センタク +++
ケイソク テーダ ヒョウシキ
[ケイソク セッティ]
ホンタイ セッティ

5. 使用する／しないを切り替える場合、あるいは、動作時刻を変更したい場合にはUP又はDOWNボタンを押して変更したい項目を選択しENTERボタンを押して確定します。

+++ ケイソク セッティ +++
[タイマー セッティ]
ケイホウ シュツリヨク シュルイ
ケイホウ シュツリヨク ナイヨウ

6. [ケイソク セッティ]以降の画面では、MENUボタンを押すと1つ前のメニュー画面に戻ります。

==== タイマー セッティ ====
[ケイホウ] ショウスル
データ ログ ショウスル
ヒョウシキ ショウスル

4-2-1. 警報タイマー機能を使う

◆計測値が規制値を超えた場合にパトライト等を点灯させる警報出力をタイマーで開始／停止をさせる時に使用します。

タイマーセッティ	→ ケイホウ
タイマーノショウ	【ショウスル】
カイシシベコク	08 : 00
テイシシベコク	17 : 30

初期値は【ショウシナイ】開始時刻【08:00】停止時刻【17:30】に設定されています。

1. 警報タイマーを設定する場合には、[タイマー セッティ]メニュー画面で [ケイホウ] を選択して ENTERボタンを押します。
2. それぞれの項目で、UP又はDOWNボタンを押して希望する値が表示されたら ENTERボタンを押して確定します。
3. 確定後は、自動的に次の項目に移動します。

タイマーノショウ で 【ショウシナイ】とした場合には、一つ前のメニュー画面に戻ります。その際、開始時刻、停止時刻の変更はされません。

タイマーの使用

ショウシナイ：タイマー機能を使用しません。

計測値が警報値を超えた場合でも警報出力はしません。

ショウスル：タイマー機能を使用します。

設定された開始時刻になると動作を開始し、計測値が規制値を超えた場合には、警報出力をします。

設定された停止時刻になると動作を停止し、警報出力をしません。

開始時刻、停止時刻

24時間表記で設定します。

毎日、設定された時刻に動作開始／停止を繰り返します。

開始時刻より停止時刻の方が早い場合、日をまたいだ動作となります。

開始時刻と停止時刻が同じ場合には、常時有効となり、時刻に関係なく計測値が規制値を超えた場合には警報出力をします。

4-2-2. データログタイマー機能を使う

◆SDカードへの計測値の書き込み動作をタイマーで開始／停止をさせる時に使用します。

タイマーセッティ	->	データログ
タイマーノショウ	[ショウスル]
カイシジコク	08 :	00
テイシジコク	17 :	30

初期値は【ショウスル】開始時刻【08:00】停止時刻【17:30】に設定されています。

1. データログタイマーを設定する場合には、[タイマーセッティ]メニュー画面で [データログ] を選択して ENTERボタンを押します。
2. それぞれの項目で、UP又はDOWNボタンを押して希望する値が表示されたら ENTERボタンを押して確定します。
3. 確定後は、自動的に次の項目に移動します。

タイマーノショウ で [ショウスル] とした場合には、一つ前のメニュー画面に戻ります。その際、開始時刻、停止時刻の変更はされません。

タイマーの使用

ショウスル：タイマー機能を使用しません。

操作パネルで手動で開始／停止を行う必要があります。

ショウスル：タイマー機能を使用します。

設定された開始時刻になるとSDカードへの書き込みを開始し

設定された停止時刻になるとSDカードへの書き込み停止します。

開始時刻、停止時刻

24時間表記で設定します。

毎日、設定された時刻に動作開始／停止を繰り返します。

開始時刻より停止時刻の方が早い場合、日をまたいだ動作となります。

開始時刻と停止時刻が同じ場合には、常時有効となり、時刻に関係なく
SDカードへ常に計測データを書き込みます。

4-2-3. 表示器タイマー機能を使う

◆内蔵の表示器、及び オプション接続の外部表示器の表示をタイマーで開始／停止をさせる時に使用します。

タイマーセッティ	→ ヒョウジキ
タイマーノショウ	【ショウスル】
カイシシベコク	08 : 00
テイシシベコク	17 : 30

初期値は【ショウシナイ】開始時刻【08:00】停止時刻【17:30】に設定されています。

1. データログタイマーを設定する場合には、[タイマーセッティ]メニュー画面で [ヒョウジキ] を選択して ENTERボタンを押します。
2. それぞれの項目で、UP又はDOWNボタンを押して希望する値が表示されたら ENTERボタンを押して確定します。
3. 確定後は、自動的に次の項目に移動します。

タイマーノショウ で 【ショウシナイ】とした場合には、一つ前のメニュー画面に戻ります。その際、開始時刻、停止時刻の変更はされません。

タイマーの使用

ショウシナイ：タイマー機能を使用しません。

表示器は消灯しません。

ショウスル：タイマー機能を使用します。

設定された開始時刻になると表示器は点灯します。

設定された停止時刻になると表示器は消灯します。

開始時刻、停止時刻

24時間表記で設定します。

毎日、設定された時刻に動作開始／停止を繰り返します。

開始時刻より停止時刻の方が早い場合、日をまたいだ動作となります。

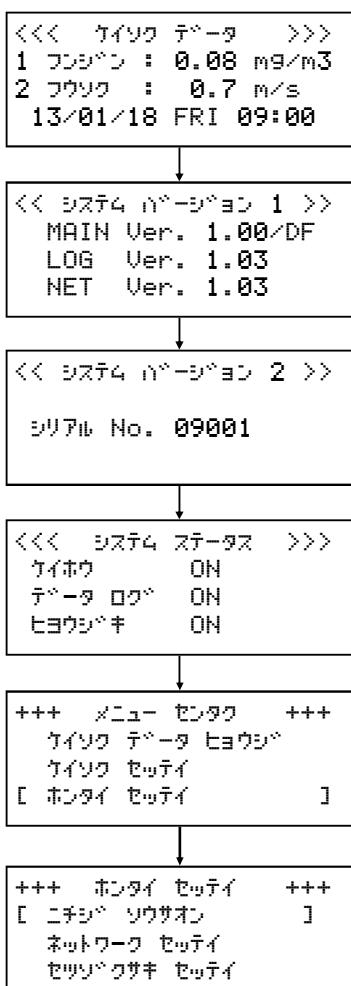
開始時刻と停止時刻が同じ場合には、常時有効となり、時刻に関係なく表示器が点灯します。

5. 本体設定

- ◆本体の各種設定変更を行う場合に使用します。
通常は変更する必要は、ほとんどありません。

日時・操作音：EBH2本体の時刻設定、操作音の設定をします。
ネットワーク設定：EBH2本体のIPアドレス等のネットワーク設定
接続先設定：ネットワークを使用した運用をする際に
接続先コンピュータのIPアドレスを指定します。

- ・日付や時刻設定機能は、本体内蔵の時計の日付時刻を調整する場合に使用します。
通常変更する必要はありません。
- ・長期にわたり電源を入れなかった場合には、時計用バックアップ電源が空になってしまい日付ガリセット(10/01/01)されてしまう場合がありますが、その場合には、電源投入時にメッセージと共に設定画面が表示されますので、そこで設定することが出来ます。
- ・ネットワーク設定、及び 接続先設定機能は、ネットワークを利用した運用をする時に設定する必要があります。 ネットワーク運用をするまでは、設定の必要はありません。



1. 本体設定を変更する場合には計測データ表示画面から操作パネルの MENUボタンを4回押し [メニュー センタク] 画面を表示します。
2. [メニュー センタク]画面が表示されたらDOWNボタンを押して [ホンタイ セッティ]を選択しENTERボタンを押して確定します。
3. [ホンタイ セッティ]画面で 変更するメニューを選択しENTERボタンを押して確定することで各設定画面が表示されます。

5-1. 日時・操作音設定

5-1-1. 日付設定

◆日付設定機能は EBH2本体内蔵の時計の日付を調整する場合に使用します。

通常変更する必要はありません。

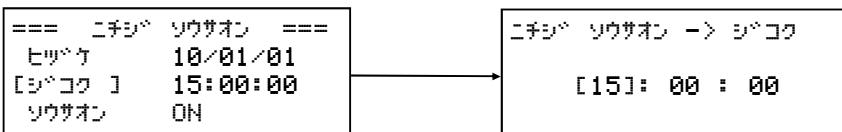


1. 日付を変更する場合には[ホンタイ セッティ]画面で DOWNボタンを押して[二チジ ソウサオン]を選択しENTERボタンを押して確定します。
2. UP又はDOWNボタンを押して[ヒツケ]を選択しENTERボタンを押して確定すると[二チジ ソウサオン -> ヒツケ]画面が表示されます。
 - ・年で UP 又は DOWNボタンを押して設定したい年へ変更し、ENTERボタンを押します。(西暦下2桁)
 - ・月で UP 又は DOWNボタンを押して設定したい月へ変更し、ENTERボタンを押します。
 - ・日で UP 又は DOWNボタンを押して設定したい日へ変更し、ENTERボタンを押します。内容を変更しない項目は ENTERボタンで次の項目に移動します。
3. MENUボタンを押すと 1つ前のメニュー画面に戻ります。その際、ENTERボタンで確定していない部分の変更は有効になりません。

5-1-2. 時刻設定

◆時刻設定機能は EBH2本体内蔵の時計の時刻を調整する場合に使用します。

通常変更する必要はありません。



1. 時刻を変更する場合には[ホンタイ セッティ]画面で DOWNボタンを押して[二チジ ソウサオン]を選択しENTERボタンを押して確定します。
2. UP又はDOWNボタンを押して[シコク]を選択しENTERボタンを押して確定すると[二チジ ソウサオン -> シコク]画面が表示されます。
 - ・時で UP 又は DOWNボタンを押して設定したい時へ変更し、ENTERボタンを押します。
 - ・分で UP 又は DOWNボタンを押して設定したい分へ変更し、ENTERボタンを押します。
 - ・秒で UP 又は DOWNボタンを押して設定したい秒へ変更し、ENTERボタンを押します。内容を変更しない項目は ENTERボタンで次の項目に移動します。
3. [秒]の項目で内容変更後、ENTERを押した瞬間から新しい時間で時計動作が開始されますので詳細な秒合わせにも対応可能です。
4. MENUボタンを押すと 1つ前のメニュー画面に戻ります。その際、ENTERで確定していない部分の変更は有効なりません。

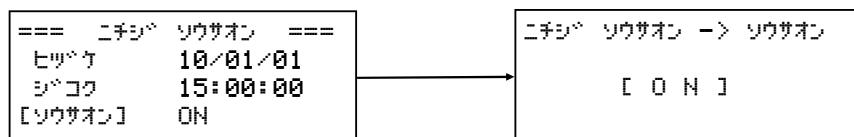
5-1-3. 操作音設定

◆操作音設定機能は 操作パネルのボタンを押した時にブザー音を鳴らすか鳴らさないかを設定する時に使用します。

- ・操作音を鳴らさない という設定にしても エラーや注意などの何かメッセージがある場合には 警告音等がなります。

- ・通常は鳴るようにしておいた方が 操作の判断が分かりやすいと思います。

初期値は、操作音はオン(鳴らします)です。



1. 操作音のオン／オフを変更する場合には[ホンタイ セッティ]画面で DOWNボタンを押して [二チジ ソウサオン]を選択しENTERボタンを押して確定します。
2. UP 又は DOWNボタンを押して[ソウサオン]を選択し ENTERボタンを押して確定すると [二チジ ソウサオン -> ソウサオン]画面が表示されます。
3. UP 又は DOWNボタンを押して[O N]／[O F F]を選択し、ENTERボタンを押して確定すると、 [二チジ ソウサオン]メニュー画面に戻ります。
4. MENUボタンを押すと 1つ前のメニュー画面に戻ります。その際、ENTERボタンで確定していない部分の変更は有効になりません。

5-2. 本体ネットワーク設定

◆ネットワークでの運用をする場合で 既存のネットワークがある環境に組み込んでの使用の場合、ご使用の環境に合わせたネットワーク設定をする必要があります。

その場合に本体のIPアドレス等を設定変更する時に使用します。

ネットワークでの運用をされない場合には、設定を変更する必要はありません。

初期状態は 以下の様に設定されています。

自己IPアドレス (IP) : 192.168.000.101
サブネットマスク (NM) : 255.255.255.000
デフォルトゲートウェイ(GW) : 000.000.000.000

本体ネットワーク設定を変更するには、[ホンタイ セッティ] 画面で DOWNボタンを押して [ネットワーク セッティ]を選択しENTER ボタンを押して確定します。

5-2-1. 自己IP設定

◆EBH2本体のIPアドレスを変更します。

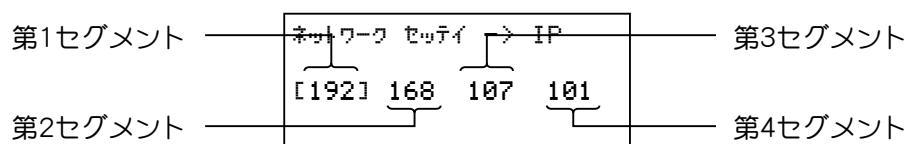
既存のネットワークに組み込む場合には、使用中のパソコンやプリンタなどと重複しないIPアドレスを設定する必要があります。(IP自動取得には対応していません。)

初期値は 192.168.0.101 となっています。



1. [ネットワーク セッティ]画面で UP 又は DOWNボタンを押して [IP]を選択しENTERボタンを押して確定します。
2. それぞれの項目で、UP又はDOWNボタンを押して希望する値が表示されたらENTERボタンを押して確定します。
変更しない項目は そのままENTERボタンで次の項目に移動します。
3. 確定後は、自動的に次の項目に移動します。
4. 第4セグメントでENTERボタンを押した後、[ネットワーク セッティ]メニューに戻ります。
5. MENUボタンを押すと 1つ前のメニュー画面に戻ります。その際、ENTERで確定していない部分の変更は有効になりません。

参考： ネットワークセグメントの説明



5-2-2. サブネットマスク設定

◆EBH2本体のサブネットマスクを変更します。

通常、現在の設定で変更の必要は無いと思います。

既存のネットワークに組み込む場合、異なる値になっている場合には変更してください。

初期値は 255.255.255.000 となっています。

```
==== ネットワーク セッティ ====
IP 192.168.107.101
[NM] 255.255.255.000
GW 000.000.000.000
↓
ネットワーク セッティ -> NM
[255] 255 255 000
```

1. [ネットワーク セッティ]画面で UP 又は DOWNボタンを押して [NM]を選択しENTERボタンを押して確定します。
2. それぞれの項目で、UP又はDOWNボタンを押して希望する値が表示されたらENTERボタンを押して確定します。
変更しない項目は そのままENTERボタンで次の項目に移動します。
3. 確定後は、自動的に次の項目に移動します。
4. 第4セグメントでENTERボタンを押した後、[ネットワーク セッティ]メニューに戻ります。
5. MENUボタンを押すと 1つ前のメニュー画面に戻ります。その際、ENTERで確定していない部分の変更は有効になりません。

5-2-3. ゲートウェイ設定

◆EBH2本体のデフォルトゲートウェイを変更します。

インターネットに接続する等、異なるネットワークと共に存させる必要が無い場合(ローカルのネットワークのみ)には変更の必要はありません。

初期値は 000.000.000.000 (ゲートウェイを使わない) となっています。

```
==== ネットワーク セッティ ====
IP 192.168.107.101
NM 255.255.255.000
[GW] 000.000.000.000
↓
ネットワーク セッティ -> GW
[000] 000 000 000
```

1. [ネットワーク セッティ]画面で UP 又は DOWNボタンを押して [GW]を選択しENTERボタンを押して確定します。
2. それぞれの項目で、UP又はDOWNボタンを押して希望する値が表示されたらENTERボタンを押して確定します。
変更しない項目は そのままENTERボタンで次の項目に移動します。
3. 確定後は、自動的に次の項目に移動します。
4. 第4セグメントでENTERボタンを押した後、[ネットワーク セッティ]メニューに戻ります。
5. MENUボタンを押すと 1つ前のメニュー画面に戻ります。その際、ENTERで確定していない部分の変更は有効なりません。

5-3. 接続先設定

- ◆ネットワークでの運用をする場合、接続先コンピュータの設定をします。
また、接続する為のTCPポート番号を表示(変更出来ません)します。

ネットワークでの運用をされない場合には、設定を変更する必要はありません。

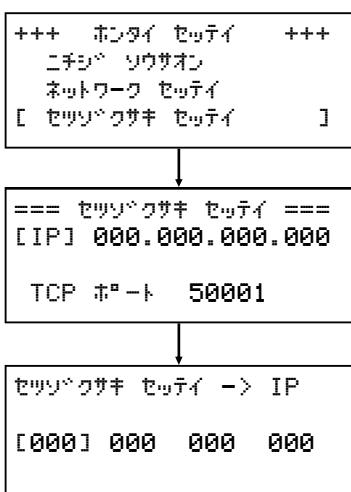
初期状態は 以下の様に設定されています。

IP アドレス (IP) : 000.000.000.000
TCP ポート : 50001

接続先設定を変更するには、[ホンタイ セッティ] 画面で DOWNボタンを押して [セツゾクサキ セッティ]を選択しENTERボタンを押して確定します。

5-3-1. 接続先設定

- ◆接続先コンピュータのIPアドレスを変更します。
初期値は 000.000.000.000 となっています。



1. [セツゾクサキ セッティ]画面で UP 又は DOWNボタンを押して [IP]を選択しENTERボタンを押して確定します。
2. それぞれの項目で、UP又はDOWNボタンを押して希望する値が表示されたらENTERボタンを押して確定します。
変更しない項目はそのままENTERボタンで次の項目に移動します。
3. 確定後は、自動的に次の項目に移動します。
4. 第4セグメントでENTERボタンを押した後、[セツゾクサキ セッティ]メニューに戻ります。
5. MENUボタンを押すと 1つ前のメニュー画面に戻ります。その際、ENTERで確定していない部分の変更は有効になりません。

5-3-2. TCPポート確認

- ◆[セツゾクサキ セッティ]画面で TCPポート番号を表示しています。

インターネット接続などでゲートウェイを使用する場合、接続機材(ルータなど)のセキュリティ設定に記述しなければならない場合があります。その際に設定する値です。

ご使用されているところのネットワーク管理者にご確認下さい。

5-4. 外部表示設定

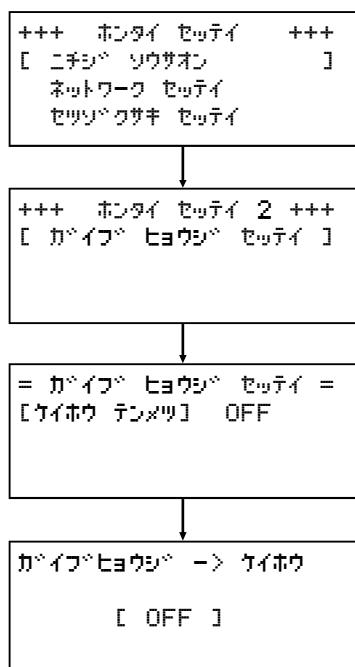
5-4-1. 外部表示設定

◆警報時に外部表示器の表示を通常通り点灯したままか、点滅させるかの設定をします。

初期値は OFF となっています。

外部表示設定を変更するには、[ホンタイ セッティ] 画面で MENU ボタンを押して [ホンタイ セッティ 2] を表示します。

その後、[ガイブ ヒョウジ セッティ]を選択しENTER ボタンを押して確定します。



1. [ホンタイ セッティ]画面で MENU ボタンを1回押して [ホンタイ セッティ 2]画面を表示します。
2. [ガイブ ヒョウジ セッティ]が選択されているので、ENTERボタンを押すと[ガイブ ヒョウジ セッティ]画面が表示されます。
3. [ケイホウ]が選択されているので、ENTERボタンを押すと [ガイブヒョウジ → ケイホウ]画面が表示されます。
4. UP 又は DOWNボタンを押して[テントウ]/[テンメツ]を選択し、ENTERボタンを押して確定すると、[ガイブ ヒョウジ セッティ]メニュー画面に戻ります。
5. MENUボタンを押すと 1つ前のメニュー画面に戻ります。その際、ENTERで確定していない部分の変更は有効になりません。

6. エラーメッセージ

◆EBH2 で発生する各種エラー、注意などの説明をします。

■電源投入時のエラー

*** テ^ムバ^イス エラー ??? *
テ^ムバ^イス ニ イシ^レヨウカ^ムアルタメ
キト^ウ テ^ムキマセン!!

デバイスエラー

EBH2自体 ハード的なエラーです。一度電源を入れなあして下さい。それでもエラーが発生する場合には、その場での復旧は不能と思われますので修理となります。

*** ケイソクキ エラー ***
セツリ^ク テ^ムキマセン!
ソクテイキ ノ テ^ムシケン^ム オヨヒ^ム
セツリ^ク ヲ カクニンシテクタ^ムサイ

ケイソクキエラー

計測器との接続ケーブルが外れているか計測器自体が故障している可能性があります。

計測器との接続ケーブルを確認し、電源を入れ直して下さい。

*** ケイソクキ エラー ***
テ^ムタシ^ムシ^ム テ^ムキマセン!
ソクテイキ ノ テ^ムシケン^ム オヨヒ^ム
セツリ^ク ヲ カクニンシテクタ^ムサイ

ケイソクキエラー

計測器の電源が切れているか接続ケーブルが抜け掛かっています。
計測器との接続ケーブルを確認し、電源を入れ直して下さい。

** ヒツ^ケ シ^ムコク エラー **
ヒツ^ケ ト シ^ムコク ヲ
セ^ツテイシテ クタ^ムサイ
[Enter]

ヒツケジコクエラー

内蔵時計のバックアップ電源が消耗して時計がリセットされました。
時計を設定することでエラー解除されます。
ENTERボタンを押して、時計の設定をして下さい。

エラー → ヒツ^ケシ^ムコク セ^ツテイ
ヒツ^ケ [10] / 01 / 01
シ^ムコク [00]: 00 : 00
[N O]

ヒツケジコクセッティ

日付と時刻を設定した後、DOWNボタンを押して [YES]を選択してENTERボタンを押してください。

■動作中のエラー

***** チュウイ *****
メモリカード^ム カ^ム アリマセン

チュウイ(メモリーカード 無し)

データログのタイマー機能を使用していない状態で、メモリーカードが入っていない時に表示します。 エラーではありませんが、電源投入時に 注意を促す為に 3秒間表示します。

***** チュウイ *****
メモリカード^ム カ^ム ヌカレテイマス
メモリカード^ム ヲ イレテクタ^ムサイ

チュウイ(メモリーカード 無し)

データログのタイマー機能使用中で書込み停止中に SD カードが抜かれると表示します。 SD カードを挿入すればエラー解除されます。

*** メモリカード^ム エラー ***
メモリカード^ム カ^ム ヌカレテイマス
メモリカード^ム ヲ イレテクタ^ムサイ

メモリーカードエラー

データログ 書込み動作中に SD カードが抜かれると表示します。 SD カードを挿入するか、ログを中止すればエラー解除されます。

*** メモリカード^ム エラー ***
メモリカード^ム カ^ム アリマセン

メモリーカードエラー

SD カードが抜かれている状態でデータログ書込み開始をしようとした場合に表示されます。 SD カードを挿入するか、ログを中止すればエラー解除されます。

**** チュウイ ****
メモリカードノアキガ
スクナクナリマシタ
メモリカードヲイレテワサイ

チュウイ(メモリーカードの空き容量が少ない)
SDカードの残り容量が1/4以下になると定期的に表示されます。
空き容量のあるSDカードを挿入すればエラー解除されます。

*** メモリカードエラー ***
メモリカードノアキガ
アリマセン
コウカンシテ クタサイ

メモリーカードエラー(メモリーカードの空き容量がない)
SDカードの残り容量が1/10以下になると表示されます。
空き容量のあるSDカードを挿入すればエラー解除されます。

*** メモリカードエラー ***
メモリカードノライトプロテクトヲ
カイシヨシテウタサイ

メモリーカードエラー(ライトプロテクトエラー)
ライトプロテクトされたSDカードを挿入すると表示されます。
SDカードの抜き取りでエラー解除されます。

** メモリカードエラー ??? *
メモリカードノカキコミイシヨウ
コウカンシテ クタサイ

メモリーカードエラー(書き込み異常)
メモリカードに書き込みできなかった時に表示されます。
正常なSDカードを挿入すればエラー解除されます。

*** メモリカードエラー ***
メモリカードカミタイオウテス
コウカンシテ クタサイ

メモリーカードエラー(フォーマットエラー)
対応できないフォーマット(FAT12)のSDカードが挿入された時に表示されます。正常なSDカードを挿入すればエラー解除されます。

*** メモリカードエラー ***
メモリカードノカソリヲコエマシタ
コウカンシテウタサイ

メモリーカードエラー(ファイル数エラー)
何度もログの書き込み開始・停止を繰り返した場合などで1日あたりのファイル数が99を越えると発生します。
正常なSDカードを挿入することでエラー解除されます。

*** メッセージ ***
ネットワークセツリクサキ
セッティシテハサイキトウコ
ユウコウニナリマス

メッセージ(再起動の指示)
ネットワークの設定を変更した場合に表示されます。
変更を有効にする為、必ず再起動してください。

**** チュウイ ****
Kセッティハ
サイキトウコ
ユウコウニナリマス

チュウイ(再起動の指示)
K値の設定を変更した場合に表示されます。
変更を有効にする為、必ず再起動してください。

**** チュウイ ****
フウソクセッティハ
サイキトウコ
ユウコウニナリマス

チュウイ(再起動の指示)
平均風速のサンプリング時間を変更した場合に表示されます。
変更を有効にする為、必ず再起動してください。

7. 付録

7-1. アプリケーション

7-1-1. 日報アプリケーション e-DamWin

インターネット回線を使用して計測値を専用Webサーバが受信、管理者が遠隔で計測値を閲覧できることはもちろん、過去計測データの検索や、日次／月次のレポート出力なども可能になります。

※e-DamWinの詳しい内容に関しましては、お問い合わせください。

初版 2013年2月20日

Emborick co.,ltd.

株式会社エンボリック

〒361-0001 埼玉県行田市北河原705番地

TEL.048-557-3266 FAX.048-557-3421

supporta@emborick.co.jp